

マイナンバーカードの普及・利用に関する
お役立ち情報をお届け

マイナンバーカード・インフォ
(民間事業者向け)
vol.16

○**民間事業者の取組紹介**

TOPPAN エッジ「AIRPOST」の事例について

デジタル庁国民向けサービスG
マイナンバーカード担当
令和5年8月14日

○ **民間事業者の取組紹介**

・ **TOPPAN エッジ「AIRPOST」の事例について**

TOPPAN エッジが提供するマイナンバーカードを活用した民間サービスについてご紹介します。詳細につきましては、次ページ以降の別添をご覧くださいませようお願いいたします。

- 別添1【TOPPAN エッジ】プラットフォームサービス「AIRPOST」を活用した官民連携による引越し手続オンラインサービスの実現に向けた取り組み

マイナンバーカード・インフォでは、国の施策や民間事業者の事例紹介など、マイナンバーカードの利用促進に関するお役立ち情報をお届けしております。

デジタル庁のマイナンバーカード制度ページで紹介しておりますので、是非、マイナンバーカードの利用検討にお役立てください。

- マイナンバー（個人番号）制度 民間事業者向けお役立ち情報ページ

<https://www.digital.go.jp/policies/mynumber/private-business/?mnci=pr16-1>

以 上

プラットフォームサービス「AIRPOST」を活用した
官民連携による引越し手続オンラインサービスの実現に向けた
取り組み

日本の手続きを、ひと続きに。



TOPPANエッジ株式会社

AIRPOSTのサービス概要

- ライフイベントの中の様々な手続きを、スマホ一つで安全に手間なく行うことができるサービスです。業界や官民の垣根を越えてシームレスに手続きができる世界を目指し、プロジェクトを進めています。



口座振替は、自宅から手続き

AIRPOSTなら、窓口に行く必要はありません。ペンや印鑑も、もちろん使いません。AIRPOSTに口座を登録しておく、スムーズに手続きが完了します。



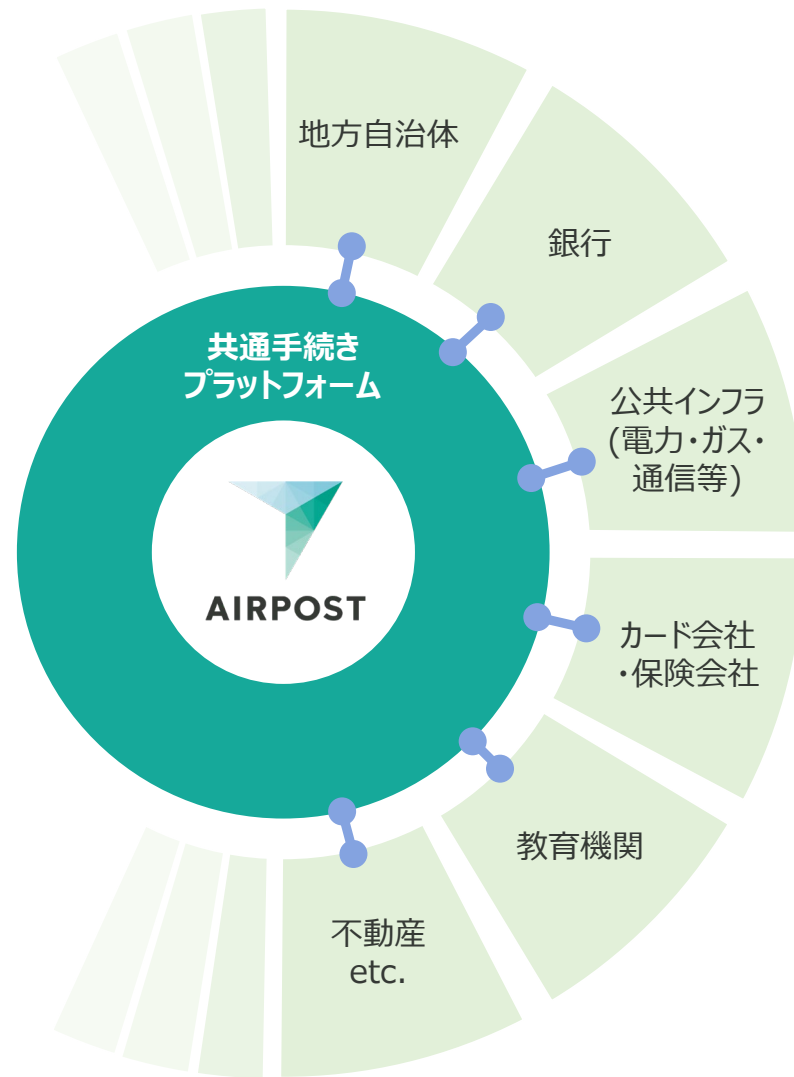
引越し後の住所変更も一括で

引越しに伴う面倒な住所変更や結婚などで氏名を変更した際も、AIRPOSTに登録されている複数の企業へ一括で届出ができます。



厳格な本人確認にも対応

AIRPOSTは、公的個人認証サービスを利用した本人確認にも対応しています。金融機関から来る定期的な取引目的の確認もスマホから申告できます。



AIRPOSTとは

サービス概要

- AIRPOSTは「+メッセージ」からアクセスすることで利用できるプラットフォームサービス
- アカウント登録と本人確認を行うことでサービスの利用が可能



『サービスの利用手順』

『提供サービス』

(2023年8月時点)

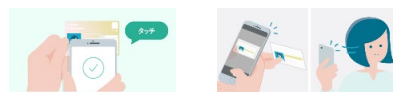
step1

アカウント登録
氏名や住所などの本人情報

①住所変更その他諸届変更

step2

本人確認(JPKI/eKYC)※



②口座振替新規設定

step3

企業登録
銀行などの金融機関を登録

③最新取引情報の申告

※ JPKI（公的個人認証サービス）：マイナンバーカードと署名用パスワードを使って行う方式 eKYC：本人確認書類と利用者の顔を撮影する方式

特徴

- 住所変更など、複数の企業へ一括手続きを可能とする「1：N手続き」が最大の特徴

① 1：N手続き



一括で情報展開

②携帯電話番号の取得



本人性の高い電話番号を取得

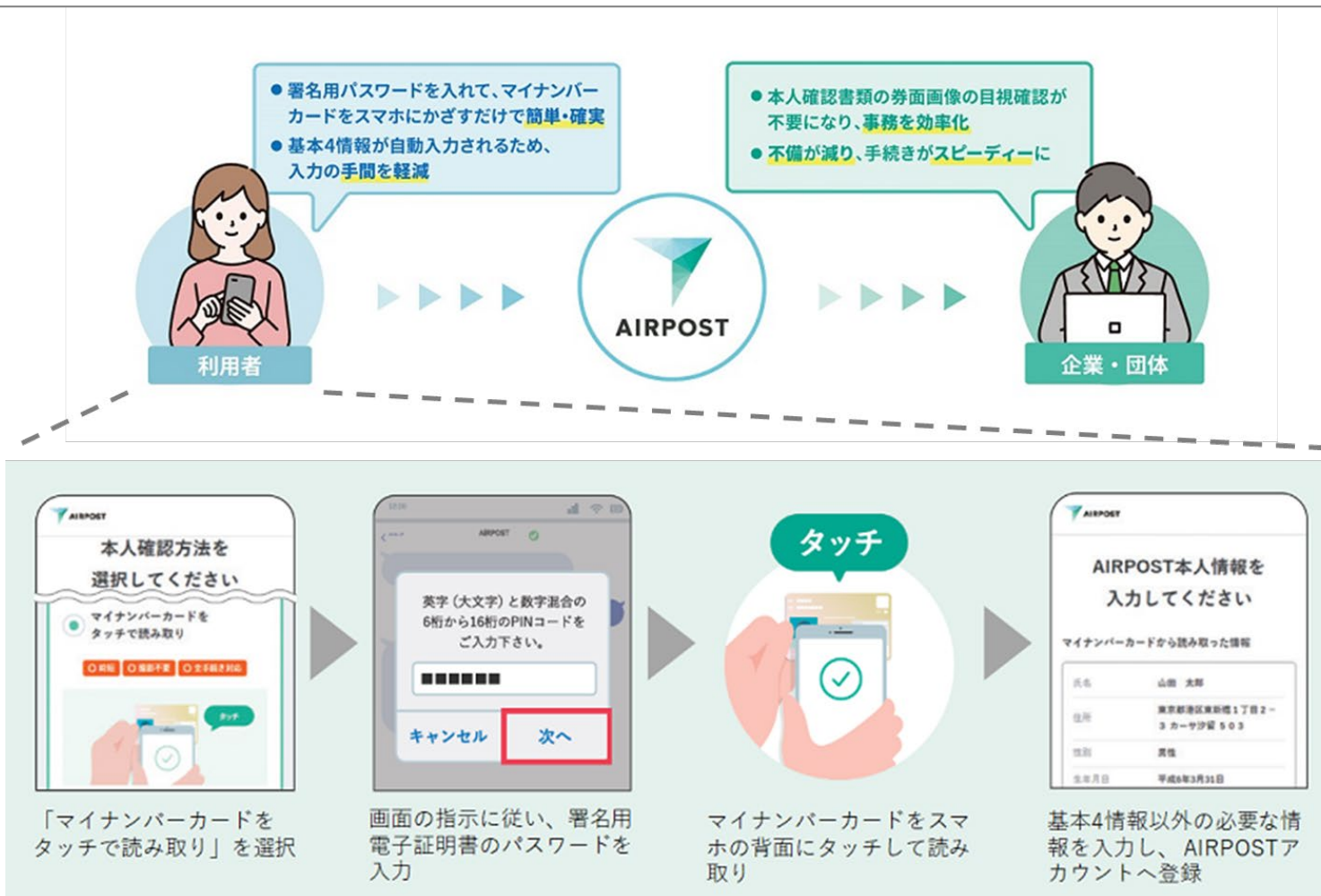
③公的個人認証の実装



マイナンバーカードによる認証

マイナンバーカードの活用：公的個人認証（JPKI）による本人確認

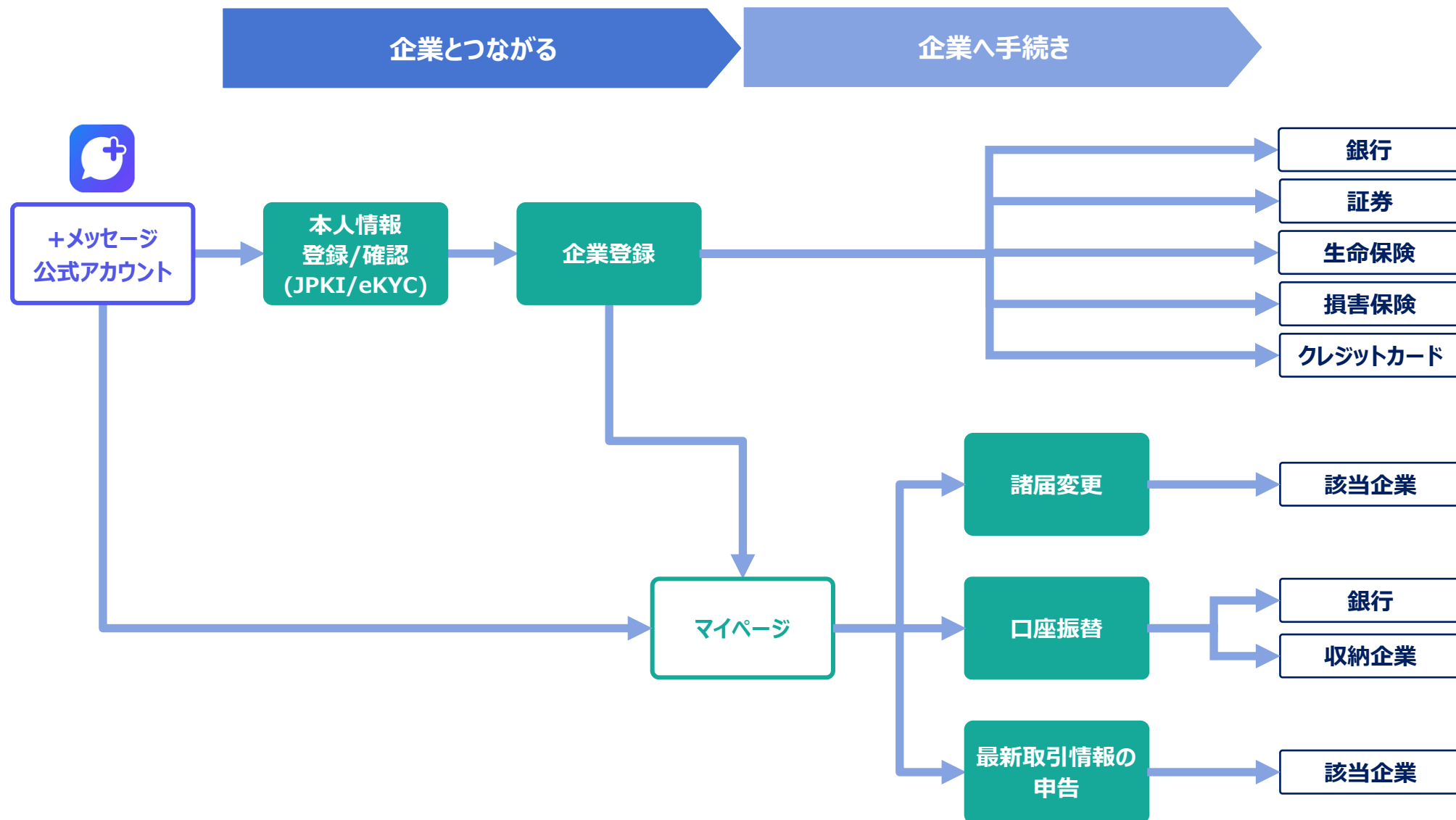
- 2022年9月28日より、AIRPOSTにて公的個人認証（JPKI）機能を活用した本人確認を開始
マイナンバーカードに基づく最新の基本4情報を提供可能。



Source) 2022年9月28日 弊社プレスリリース <https://www.edge.toppan.com/news/2022/0928.html>

サービス利用の流れ

- AIRPOSTによる手続きは、アカウントと契約情報を紐づけるための企業登録と、紐づけた情報をもとに、企業へ手続きを行う二段階の流れで構成



引越しナビ(仮)の構想・役割

- 複数の事業者・自治体へ、引越しに関する手続き基盤としての活用を構想
- サービスのカテゴリ毎に高い利用率を誇るフロントサービスをラッピングすることで、利便性が高い各種サービスを引越しの一連の手続きの過程で利用可能な環境を構築



行政手続き後は、AIRPOST参画金融機関への手続きを意識せずに実現可能な手続き体験を目指す。

独自実証実験概要

実証目的

生活者を中心に据え、引越しOSSを利用させる仕掛けを作り、連続性のある顧客体験価値を提供可能か、また、引越ナビ(仮)による金融機関手続への流入効果の測定

実証概要

実証時期

- ・インターネットモニター
2023年5月15日（月）～5月19日（金）
- ・横須賀市民モニター
2023年5月16日（火）～5月19日（金）

検証方法

- ・実際に引越しをする/した生活者に対して、引越し上流サービス→AIRPOST→各種手続きまでの引越しプロセスのナビゲーションをインタラクティブな動画で疑似体験いただくことで、各ステップにおける生活者の体験に関する声を収集

実証環境

- ・プロトタイプを利用し、特定のURLより遷移しブラウザ上で操作
※ サービスリリース時は、+メッセージの公式アカウントからの遷移を想定
- ・実際の手続はできず、ガイダンス動画でイメージを想起

実証対象者

- ・実際に引越しをする/した生活者
- ・自治体窓口で転出届・転入届を提出した生活者

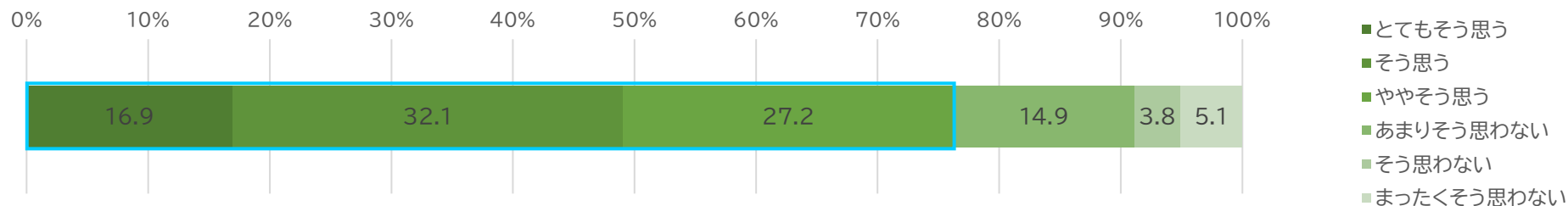


横須賀市役所での実証の様子

独自実証実験結果

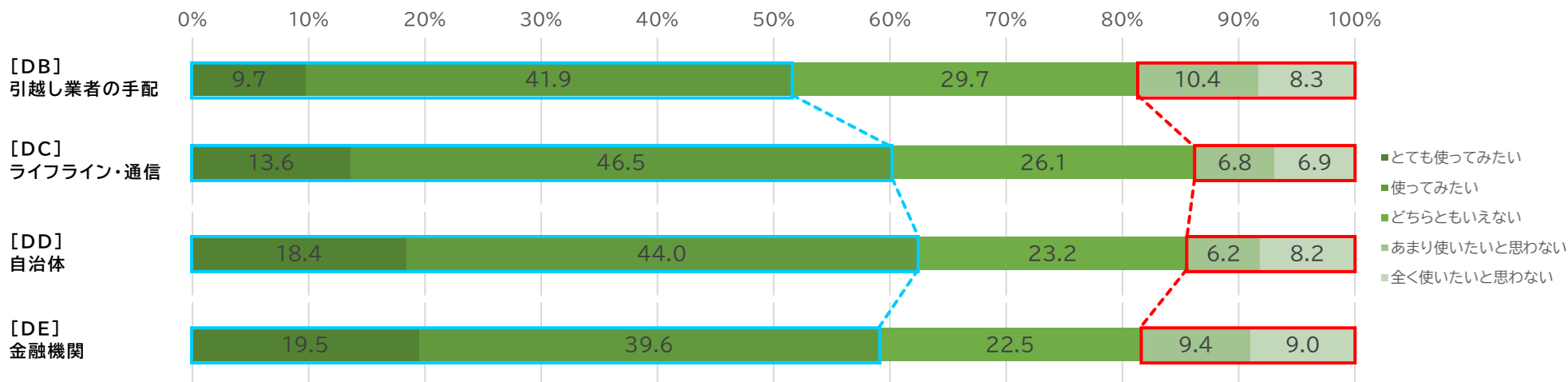
- 2023年5月に実施した引越し手続きナビゲーションサービスの実証実験にて、引越しに関するデジタル手続きに対して多くの肯定的な反応を受け、本サービスの後押しとなる結果となった。

Q. このようなサービスを、あなたは利用したいと思いますか。(1つ選択)



Q. (各手続きの説明動画を見て)ご自身が引越しをするとき、このサービスを使ってみたいですか？

N=1027



- ✓ 引越しナビゲーションサービスを利用したいと感じた人は**76.2%**
- ✓ 各手続きのサービス利用意向は**5~6割が「使ってみたい」と回答**
- ✓ **金融機関向けの手続きチャネルである「AIRPOST」についても、59.1%の方が前向きな意向を示していた**

Source) 弊社プレスリリース(2023年6月27日) <https://www.edge.toppan.com/news/2023/0627.html>